

教授会議事要旨

日 時：平成25年10月1日（火）15時00分～16時30分

場 所：接合科学研究所本館 2階会議室

出席者：中野センター長、畑中、野海、青井 各教授、福田、味村、民井、緒方 各准教授、王
講師、外川、堀田、高久、依田、鈴木、白鳥、植田、菅谷、橋本、鎌野、陳 各助教

欠席者：與曾井、能町、保坂 各教授、井手口、藤田 各准教授、嶋、郡、梅原 各助教

陪席者：岸本教授、木富事務長、中澤庶務係長、芦田研究協力係長、西村会計係長

議 題：

I. 報告事項

1. 吹田地区部局長会議（9月18日）

メールにて事前報告済

2. 教育研究評議会（9月18日）

メールにて事前報告済

3. 部局長会議（9月18日）

メールにて事前報告済

4. 学術研究機構会議（9月27日）

メールにて事前報告済

5. 計画・評価委員会（9月19日）

メールにて事前報告済

6. 安全保障輸出管理委員会（9月27日）

メールにて事前報告済

7. 吹田地区事業場安全衛生委員会（9月26日）

メールにて事前報告済

8. 核物理研究センター安全衛生委員会（9月27日）

メールにて事前報告済

9. ネットワークおよびスパコンの更新について

メールにて事前報告済

10. その他

(1) 外国人若手研究者受入れについて

外国人若手研究者1名の受入れについて報告があった。

(2) 研究大学強化促進事業による海外への若手研究者派遣プログラム及び海外からの研究者受入れプログラムの募集について

文部科学省研究大学強化促進事業の採択に伴い実施される海外への若手研究者派遣プログラム及び海外からの研究者受入れプログラムの募集について説明があり、積極的な応募の要請があった。

(3) その他

①大塔コスモ観測所について

9月30日に五條市を訪問し、大塔コスモ観測所から撤退する意向を伝えたとの報告があった。今後は撤収に向けての作業（鉛の移設、電気設備等）を進めるとともに地元自治体に

向けての研究成果報告会の準備を行う予定である旨説明があった。

②研究活動に係る不正行為及び研究費不正使用の防止について

国立大学協会長名で発出された研究活動に係る不正行為及び研究費の不正使用について、資料2に基づき説明があり、研究者個人の不正が大学全体に影響を及ぼすこと、研究費は公金であるとの意識を持つこと、特に旅費や謝金の使用ルールを遵守すること、について注意喚起があった。

③平成25年度大阪大学国際共同研究促進プログラムの選考結果について

平成25年度大阪大学国際共同研究促進プログラムについて、カナダ・TRIUMFとのUCNに関する共同研究プログラムが採択された旨報告があった。

④放射線源の持ち出しについて

放射線源を持ち出す際の帳簿への記入漏れについて注意喚起があり、共同利用者にも周知するよう依頼があった。

⑤本館耐震改修工事について

10月8日に微研北館・ゲストハウスから微研別館へ引越しを予定、入退カードは本日から庶務係で配付している旨のアナウンスがあった。

II. 前回教授会議事録（案）について

平成25年9月3日（火）開催の教授会議事録（案）について、意見があれば本日までに連絡願うこととした。（同日までに特段の連絡はなく原案のとおり確定した。）

III. 協議事項

1. 平成25年度協同研究員の受入れについて（追加）

資料4に基づき、協同研究員1名の追加について説明があり、審議の結果、受入れが承認された。

2. 平成26年度大学院高度副プログラム（医）への参加について

資料5に基づき、医学系研究科が実施する平成26年度大学院高度副プログラムに連携部局として参加することについて説明があり、審議の結果承認された。

3. 加速器運転責任者の心得について

スライド及び資料6に基づき、加速器運転責任者の心得を明文化することとなった経緯及び概要について説明があり、種々意見交換の後、継続審議とした。

4. 特任研究員の採用について

任期満了前に退職予定の特任研究員の後任採用について、当該プログラムの円滑な推進に資するため、プログラム責任者において適任者の選考を行う旨説明があった。但し、雇用期間は平成26年3月末までとし、平成26年度特任研究員の選考には影響を与えないことを確認した。

また、本件は次回運営委員会に附議することとした。